

令和3年度鳥取県自主防災組織等知事表彰受賞者名簿及び功績概要

【功労表彰】

※敬称略

受賞団体	功績の概要
<p>米子市 緑ヶ丘自治会防災会</p>	<p>本会は、毎年防災訓練を計画し活動している。</p> <p>令和2年度の洪水を想定した訓練においては、「避難準備・高齢者等避難開始」の情報で避難行動要支援者への声かけ及び避難支援を行い、その後の「避難勧告」の情報により全員避難の呼びかけと情報収集訓練を実施された。</p> <p>訓練においては、新型コロナウイルス感染症対策として非接触型体温計の導入や、自宅前で対面して行っていた呼びかけを、対面とならないよう自宅内から返答するなどの工夫が見られた。</p> <p>高齢化における地域課題を認識され、避難行動要支援者への適切なタイミングでの声かけを検証されたこと及びコロナ禍においても工夫により住民参加型の訓練を実施され、地域防災力の継続・向上を図られたことは他の模範となる。</p>
<p>倉吉市 <small>もくなみ</small> 棕波自治公民館自主 防災会</p>	<p>本会は、平成17年に自衛消防団を結成して以降、平成25年に高齢者世帯の見守り活動の開始、市社会福祉協議会の補助事業による公民館の防災備品整備や毎年の防災訓練・研修会の開催など、地域防災力の向上に努めている。</p> <p>平成30年9月29日の大雨災害では、市道棕波～般若線の土砂崩れにより大量の土砂が市道に流れ、車の通行が不可能になり、同時に停電も発生し、集落が孤立状態となったが、公民館を一時避難所として希望者の受入れを開始し、市より衛星電話の貸出や食料等の支援物資の提供を受け、翌日、正午頃の解除まで避難所を運営した。</p> <p>令和2年には、急傾斜地の崩壊対策事業への地区内危険個所の要望書の提出や、地域内防災安全マップ更新のための調査を行い、令和3年3月には、地域住民の総意で自主防災組織の結成に至るなど、積極的に防災に取り組む姿勢は、他の模範となる。</p>
<p>伯耆町 駅前区支え愛活動委 員会</p>	<p>本会は、区内の危険箇所や要支援者の情報、災害時の避難経路などを確認し地図に落とし込んだ「支え愛マップ」を作成し、駅前区全戸に配布したほか、子ども会と連携し「まち探検」を開催し、区内を歩いて危険箇所を確認し作成した地図を公民館に掲示している。見つかった危険箇所は、町などに陳情を行うとともに、区民で対策が可能な箇所についてはボランティアで対策を行っており、令和2年6月の対策作業には23名が参加して、柵のない水路への柵の取り付けを行うなど安全対策を行った。</p> <p>また、令和2年9月には、全区民を対象とした避難訓練を実施。区災害対策本部の立ち上げを行い、役員、行政、警察等により行動等の検証を行うなどした。</p> <p>本会では自治会の「地域活動に参加して駅前区を元気にしよう!」というスローガンのもと、防災に限らず、平時より区民のコミュニケーションを図る様々な活動を行っており、災害時には被害を最小限に抑えることに繋がるこのような取り組みは、他の模範となる。</p>